

# 第17回知識構造化シンポジウム 「設計開発部門のSSM実践 未然防止活動の多彩な工夫」

ライブ配信  
開催

2025  
9/19(金)  
13:30-17:00

開催形態：ライブ配信

参加費：4,950円（税込／一般・会員ともに）

◆特典つき！詳細は裏面に◆

主催：一般財団法人日本科学技術連盟

後援団体：（順不同）

一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本自動車部品工業会

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター、日本信頼性学会

一般財団法人日本品質管理学会、株式会社日科技連出版社

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し、再発防止・未然防止に有効活用するSSMによる構造化知識マネジメントは、多くの業種・企業で取り組まれています。導入企業では、製品や装置の設計、製造、工事、保守など様々な業務においてSSM知識を活用し、デザインレビュー、FMEA、チェックリスト運用などの強化を図り、業務品質を向上させています。特に、設計開発の現場では、SSM知識を最大限に活用した未然防止活動を推進するために、自社の業務プロセスの改善や、知識管理に関する工夫など、様々な知識運用に関する取り組みが行われています。

今回のシンポジウムでは、SSM導入企業3社の事例を通じて、様々な設計開発現場におけるSSM知識の活用方法や、SSM知識の質を維持するための知識運用方法、SSMによる未然防止活動をさらに発展させるための取り組みをご紹介します。ぜひご参加ください！

※本シンポジウムは実践に重点を置いた内容となっています。事前に下記の書籍をお読みいただくと、一層効果的です。

『SSMによる構造化知識マネジメント－設計開発における不具合防止に役立つ知識の構築と活用－』（田村泰彦 著 日科技連出版社）

『JSQC選書 第4巻 『トラブル未然防止のための知識の構造化－SSMによる設計・計画の質を高める知識マネジメント－』（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

※ライブ配信とは、ご参加いただく方のPC、タブレット、スマートフォン等でシンポジウムの様子を映像で視聴しながら参加していただく形式です。総合討論での質問方法、ライブ配信プラットフォーム、PC等の推奨環境など詳細はwebサイトをご確認ください。

## プログラム

時間	内容／講演者（敬称略）
13:30-13:40	オリエンテーション
13:40-15:40	<b>事例講演1：</b> 「 <b>医用機器の設計開発におけるSSM活用による品質トラブル未然防止の取り組み</b> 」 笠井 貴之（株式会社島津製作所 総合デザインセンター 設計推進ユニット 主任） <b>事例講演2：</b> 「 <b>商用車の開発におけるSSMを用いた不具合未然防止活動の工夫</b> 」 浅野 巧（日野自動車株式会社 開発品質管理部 開発品質管理グループ） <b>事例講演3：</b> 「 <b>空調機の設計部門におけるSSMを活用したトラブル未然防止活動の強化と実務適用の推進</b> 」 井上 裕章（三菱重工サーマルシステムズ株式会社 空調機技術部 技術管理課 技術支援チーム 主任） 江口 剛（三菱重工サーマルシステムズ株式会社 空調機技術部 技術管理課 技術支援チーム）
15:40-16:10	<b>特別解説：「構造化知識マネジメントの導入方法と実践各社の最新動向」</b> 長谷川 充（株式会社構造化知識研究所 シニアコンサルタント）
16:10-16:50	<b>総合討論：全講演者</b> コーディネータ：田村 泰彦（株式会社構造化知識研究所 代表取締役）
16:50-17:00	まとめ

※プログラムは予定です。時間・講演内容・タイトルなど予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

## お問合せ先

日本科学技術連盟 品質経営推進センター SSMS担当 TEL:03-5378-1213 E-mail:quality-kensyu@juse.or.jp

お申込みは裏面をご利用頂くか、日科技連 HP・URL：<http://www.juse.or.jp/> をご確認ください。

# 概要 (講演者敬称略)

## 事例講演 1 「医用機器の設計開発における SSM 活用による品質トラブル未然防止の取り組み」

笠井 貴之 (株式会社島津製作所 総合デザインセンター 設計推進ユニット 主任)

医用機器の設計開発段階での品質トラブル未然防止を目指し、SSM を活用したトラブル知識の登録と活用の仕組みを業務プロセスに組み込んできた。特に開発機器の機能展開図と SSM 知識ベースの連携を強化し、チェックリストにおける作成の効率化や検討内容の漏れ防止に取り組んだ。また未然防止活動の実効性を高めるための知識登録・活用の工夫や、更なる設計品質向上に向けた不具合事象からの知識検索など、様々な仕組みの策定に取り組んでいる。本講演では、これらの実践内容と今後の課題、さらなる展望について紹介する。

## 事例講演 2 「商用車の開発における SSM を用いた不具合未然防止活動の工夫」

浅野 巧 (日野自動車株式会社 開発品質管理部 開発品質管理グループ)

弊社では、商用車の開発・製造を行っている。国内外の市場不具合等の技術情報を活用し、開発品質を向上させることを目的として、2018 年に SSM を導入して未然防止活動を行っている。その活動において、知識蓄積の手段として技術情報の深掘りの為に独自に考案した故障解析シートを活用している。また設計者が利用した知識確認用シートを解析し、システム活用状況を評価して、設計者への知識活用方法の指導や知識運用の改善を行っている。本講演ではこれらの取り組みについて紹介する。

## 事例講演 3 「空調機の設計部門における SSM を活用したトラブル未然防止活動の強化と実務適用の推進」

井上 裕章 (三菱重工サーマルシステムズ株式会社 空調機技術部 技術管理課 技術支援チーム 主任)

江口 剛 (三菱重工サーマルシステムズ株式会社 空調機技術部 技術管理課 技術支援チーム)

弊社では、空調機などの冷熱製品の開発・製造・販売を行っている。2015 年 11 月から空調機の設計及び試験部門において SSM 活動を開始し、座学及び演習からなる社内技術教育により SSM の普及活動を推進してきた。現在、SSM 活動を発展させるために、FMEA などの帳票活用の強化、実務適用に不可欠なルール (標準) の制定を行い、説明会を通じてユーザへの実務適用を促している。さらに AI を活用した SSM 活動支援にも取り組んでいる。本講演では、これらの取り組みについて紹介する。

## 特別解説 「構造化知識マネジメントの導入方法と実践各社の最新動向」

長谷川 充 (株式会社構造化知識研究所 シニアコンサルタント)

## 総合討論 (全講演者)

コーディネータ: 田村 泰彦 (株式会社構造化知識研究所 代表取締役)

### ◆参加者特典のご案内◆

本シンポジウムの参加者特典として、日科技連主催「設計開発における不具合未然防止のための知識活用セミナー」を割引価格でご受講いただけます! 本特典は 3 名様 (シンポジウム参加者ご本人+2 名) までご利用可能、参加費: 一般 73,700 円→68,750 円、会員 66,000 円→61,050 円 (税込) が適用されます。シンポジウムとセットで、ぜひセミナーも貴社の取り組み推進にご活用ください。なお、本特典の対象は 2025 年度 第 2 回、2026 年 第 1 回のセミナーとなります。また、本特典のご利用にはシンポジウム当日に配付する専用申込書が必要となります。

### ◆お申込み先: セミナー受付グループ (FAX: 03-5378-1227 / regist@juse.or.jp / TEL: 03-5378-1222)

※No 欄は記入しないでください

## 第 17 回 知識構造化シンポジウム参加申込書

2025 年 月 日

No	参加者名	所属事業所・部課・役職名	所在地/資料送付先	電話/E-mail
			【所在地】 〒  【資料送付先】 〒	TEL :  E-mail :
			【所在地】 〒  【資料送付先】 〒	TEL :  E-mail :

### ●連絡担当者様 (お申込み受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名		事業所名		電話	
部課/ 役職名		ふりがな 担当者名		F A X	
所在地	(〒 - )		E-mail		
参加費	4,950 円 (税込) × 名 =		円		

※ご記入いただいた企業・組織及び個人情報は、参加申込み受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。また、当該個人情報は必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、第三者に提供することはありません。なお、お申込みいただいた方には当連盟のセミナー・研究会・講演会等をご案内させていただきます。また、その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要請があればご案内を速やかに中止いたします。

※事前のキャンセル連絡がなく欠席された場合は、資料のご送付と引き替えに参加費を全額頂戴いたします。